

令和8年度 放送大学岡山学習センター公開講座

《 第1回 》

講演：薬用植物の利用あれこれ

人は古来より植物を薬として利用してきました。
現代においても、多様な植物がハーブや漢方薬の原料、
あるいは西洋医薬品の開発の元として利用されています。
今回、その基礎となる植物の分類や利用方法についてお話しします。

日時 令和8年9月5日(土) 13:30～15:00

場所 瀬戸内市民図書館 つどいのへや

定員 40名(要申込・先着順)

※ 8月8日(土) 10:00～ 市民図書館カウンター電話にて受付

講師 谷口 抄子 先生 (放送大学岡山学習センター客員准教授
元岡山大学准教授)



講師プロフィール

岡山大学薬学部において薬用植物に含まれる成分の化学構造の研究と薬用植物や生薬・漢方薬学分野の教育とともに、附属薬用植物園の管理を行ってきました。2023年退職後、現在、放送大学岡山学習センターでは、薬用植物学や漢方薬学の授業やゼミを担当しています。

